

# 彙報

◎県内における研究活動—考古学篇

四月九日上北郡大戸村金矢部落で弥生式文化をくんだ二千年前のものらしい直径五寸、高さ六寸のトックリらしき土器が発見さる。

四月十八日南郡大鐺町阿闍羅山麓で縄文後期のものとされる径一尺二寸、横二尺三寸五分で裏に四本の脚と、精巧な彫りを持つ石の皿が発見さる。

四月二十四日八戸市黒川遺跡、重要文化財飯沼定より本指足への為、文部技官来入す。

六月二十六日中郡岩木村岩木神社附近に、約千年前の石造文化の名残りを留める山岳崇拜の祭壇遺跡らしきものが発見さる。

六月二十七日早稻田大学考古学教室では、入月中岡岩木山麓の遺跡を発掘する予備調査の為同大学考古学教室後井清彦講師が来弘す。

七月二十四日南郡浪岡町で石皿、石槌、板石棒が発見さる。

八月九日 青森市三内で慶大考古学班と、同大  
学助教清水桐三氏が、縄文中期の屈位関係及び  
円筒式文化の究明の爲来青す。

八月三十一日 三戸郡大館村十日市赤御堂貝塚  
で慶大文学部考古学教室江坂輝彌氏一行が、縄文  
式早期の住居跡発見及び日本では最古の、可返し  
ものついでモリを発見す。

◎青森県関係図書雑誌

「東奥文化」

青森県文化財保護協会発行、現在才四号迄発行、  
才四号主要論文

歌謡伎手引草

佐々木 義高

無形文化財調査報告三 能舞(し、舞)

井沢 芳信

永穀日記雜考(下)

武田 彦栄

「陸奥史談」

陸奥史談会(弘前)発行(第二回)現在迄二十五  
号発行、主要論文左の通り

渡嶋蝦夷

大山 梓

弘前藩における朝鮮人参考(羽賀 与七郎)

手塚玄通の津輕藩財政改革案(加藤 鐵三郎)

尾崎村附近の古村について

成田 末五郎

関ヶ原に於ける津輕勢

藤田 三郎

唐牛窟主多田について

小野 慎吉

「うしろ」

青森郷土会発行 年四回一四七十月発行、最近号

三十七号、主な内容

津輕の統一と嶋 崎両氏の功績 福士 貞蔵

弘前藩に於ける酒造組合、 松木 侃

津輕藩のアイヌ対策と蝦夷地への派兵

有倉 弥八

ハマナラの衣

山井川清次郎

◎受贈図書目録へ三一年一月以降

史 海才三号 東京学芸大学史学界

駿台史学 才六号 駿台史学会

大倉山編集才五輯 大倉山文化科学研究所

大谷史学 才五号 大谷大学史学会

高知大学学術研究報告才三号才五卷

高知大学